



夢咲き

学校長通信 (学校長発行)
2024年度11月号 (No.7)
宮古島市立平良中学校

未来講話「未来」を切り拓く君達へ

講師に本校卒業生
来間 清人氏未来を切り拓く君たちへ
～地元から世界へ、研究者としての挑戦～
来間 清人

写真・スライドは来間氏 提供→

ハワイ州立大学 修士課程修了

11月14日 OIST「沖縄科学技術大学院大学」神経生物学研究ユニットで研究者として活躍する本校卒業生「来間 清人氏」をお招きし未来講話を実施しました。平良中学校を昭和55年3月に卒業した同氏は、小学校時代は野球、中学校時代はサッカーとスポーツ選手になることを夢見る少年だったと、宮古に生まれ育った高校までの自身を振り返った。

琉球大学農学部を卒業した来間氏はなかなか就職が決まらず、帰島し「宮古島で牛を飼おうか」「ブラジルで仕事を見つけようか」と考えている最中に転職が訪れる。「来間君！君は英語で

きるからハワイに留学しないか？」大学時代の恩師からの勧めに、二つ返事ですぐにハワイ行きを決断、そこから研究者としての道が開かれる。ハワイ大学を経てアメリカ合衆国本土に渡り、オハイオ州立大学大学院(修士号取得)→ヴァージニア工科大学大学院(博士号取得)→シカゴ大学大学院→アメリカ国立衛生研究所と、50歳までアメリカ本国で「遺伝子学(DNA解析)」の研究に没頭した

来間氏からは、自身の経験を踏まえながら、「進路を決めるときは一度ではない。」「これだ！という進路を見つけるのは簡単ではないが、普段から小さな興味や特技を大切に、自分を進化させながら進路選択をしてほしい。」また、「人(恩師)との出会い・繋がりを大切にすることでチャンスが与えられることもある。」さらには、「英語力を重視した大学も多く、将来、様々な仕事をし、外国人と会話をする際もやはり「英語」の習得が重要である」と激励と助言を頂きました。

研究者になるには

大学に残り探究(大学院) + 2～5年
2年で終わる(修士号)
5年以上研究を続ける(博士号)

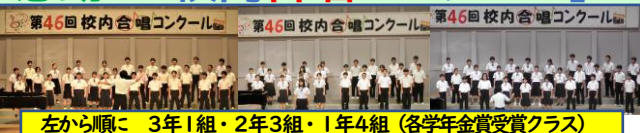
博士号の資格を取った人は「博士」と呼ばれる

知識 & 探求力を活かし

- ・未知の分野の研究
- ・解決されていない真理探究
- ・新しい技術開発
- ・最先端技術と知識の普及

「研究者になるには」進路担当 川満

感動の「校内合唱コンクール」



左から順に 3年1組・2年3組・1年4組(各学年金賞受賞クラス)

11月2日 この日の午後、マティダ市民劇場にて第46回校内合唱コンクールが開催されました。今年度は、日曜開催ということもあって多数の保護者が参観する中、1学年を皮切りに、2学年、そして3学年の順で合唱が披露されました。インフルエンザによる影響で、練習時間が思うよう確保できなかったり、当日の欠席者が多くなってしまいう等、コンディションとしては、十分でない学級もありました。しかし、そういう中でも各学級、歌声に思いを乗せベストを尽くしてくれました。その合唱からは学級の結束が感じられ、学年、学校全体が一体となった素晴らしい合唱コンクールとなりました。3年生を代表して振り返りを行った砂川空菜さんからは「本番2週間前は、焦りからクラスの気持ちもバラバラになり、話し合いを行ってきました。金賞を取る事だけでなく「5組の最高の歌を歌おう」という目標を立てました。本番では、参加できなかった7人の仲間の分もみんな頑張った後、みんなの目に光るものは最高でした。今日の合唱に悔いはありません。これからお互いで支え合いのできる最高の学年でいたいです」と述べ、大きな感動とともに、合唱コンクールを締めくくりました。

魅力ある学校づくりに向けて「校長講話より」

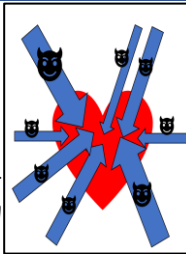
このイラストから何をイメージしますか？中央にあるハート、そして矢印は何を表しているでしょうか。このイラストは、いじめを表しています。①ハートは、いじめられている人の心 ②心に刺さった矢はいじめの矢です。では、心に刺さった矢を抜くにはどうすればいいでしょうか。いじめられて心が弱っている人は、自分で抜くことができません。やはり、周りの人が気づき助けてあげることが一番です。方法として2つ挙げます。

1 周りの人が、いじめられている人に「信頼できる大人(先生・家族等)と一緒に相談しよう」と持ちかける

2 周りの人が、信頼できる大人(先生・家族等)に相談する。

このように周りの人が助けてあげることが大切です。しかし、いじめの矢は、たとえ、抜けたとしてもその跡が残ってしまいます。つまりは、いじめられたことを忘れることができない人もいます。また、忘れることはあっても時々思い出し辛くなることもあるのです。ですから、周りの人がいじめを許さない、見逃さないことが重要です。

平良中では、1学期の6月に生徒会から「平良中 いじめゼロ宣言」が出されました。その宣言項目はどれもいじめをなくすために必要なことです。3年生は、10月の修学旅行で長崎において平和集会をもち、愚かな戦争や世界平和について考え、そして、身近な平和として「平良中での平和」を願い、いじめゼロ宣言を3年生全員で読み上げました。これからは、生徒一人ひとりがこの宣言の内容を大切に、相互に心歩「思いやり」を発揮し、4つの宣言項目を実践していきましょう。



平良中「いじめゼロ宣言」↓



平和集会「長崎平和記念公園」↑